

【事務事業調査】

事務事業名	生活習慣病予防費			予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-04-01-02-003-01-03-〇
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 係長	健康づくり係 田中圭子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?	
計画	H23 事後 評価	特定健診受診者で、特定保健指導対象者以外で効果が良好でなかった者を対象に、結果説明会を開催し、個別面接、栄養指導、運動指導を実施しました。実際に塩分の味覚体験や運動体験をすることで、生活改善を身近に感じ実践に結びついたのではないかと思います。また、運動教室や栄養教室への参加者も増えました。教室では結果説明会より具体的な指導ができるため、生活習慣病予防の啓蒙が効果的にできました。結果として、平成23年度の肥満者の割合は前年の23.3%から21.9%と減少し、メタボリックシンドローム基準該当の割合も減少傾向にあります。平成20年度14.9%が平成23年度は13.1%だった。	毎年健康診査を受診することで、体重の増加や血圧の上昇など、身体の変化を知ることができます。変化が現れたときに早期に対応することで、メタボリックシンドロームの予防となります。正しい食生活や定期的な運動で、高血圧や糖尿病、脳卒中を予防することができます。国民健康保険の生活習慣病における医療費の割合を抑えることができます。住民が自ら健康に生活するための知識を学び、毎日の生活に生かして実践することで、健やかで生き生きとした町民が増え、健康寿命が延びていきます。
	H25 事前 評価	生活習慣病の予防として、運動習慣づくりと正しい食生活に重点をおき、健康教室・健康相談を継続していきます。生活習慣の改善に取り組むきっかけは健康診査の受診が大きな役割を果たすので、住民課との連携で国保加入者への特定健診受診の勧奨、がん検診推進事業を活用した受診勧奨に努めていきます。栄養教室では、1回当たりの参加人数が増えていることから、実施回数を増やして開催します。また、教室へ参加できない方のために、教室のダイジェスト版として家庭で気軽にできる筋トレ法やストレッチ法、栄養に関する情報等を発信していきます。	
実績			

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
特定健診受診者の肥満の割合	21.5%		

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 賃金	2,441	結果説明会時栄養士・保健師・歯科衛生士28回分 フッ素塗布 事業看護師・歯科衛生士2回分 臨時常勤栄養士250日分
2 報償費	335	運動教室講師 運動指導士@7,000×36回 健康づくり推進委員
3 消耗品	671	栄養教室材料代 指導用パンフレット 参考図書 フッ素塗布 材料 事務用品等
4 委託料	353	ア子健康教室時運動指導委託 @12,600×28回
5		
6		
7		
8		
	3,800	

■事業費(実績)

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

■事業経費

		計 画	【千円】	実 績	【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額		3,800			
	補正予算額					
	流用額					
	予算現額					
決 算	決算額					
財 源	国庫支出金					
	県支出金		1,057			健康増進事業補助金
	地方債					
	受益者負担金		136			健康教室参加負担金
	その他の特定財源					

計	1,193	
差引(一般財源)	2,607	